

2007年3月期  
中間決算説明

# 株主の皆様へ

## (1) 経営の基本方針

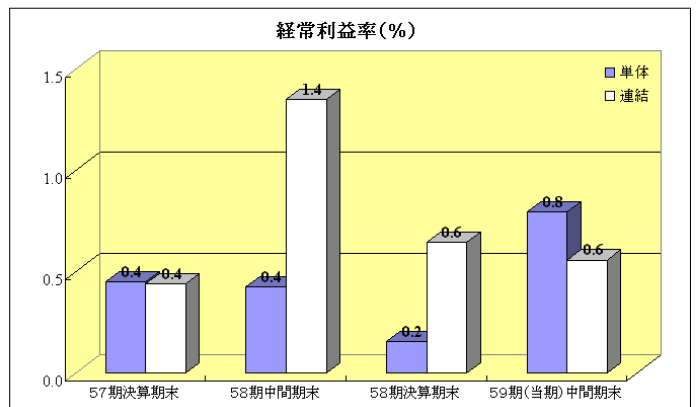
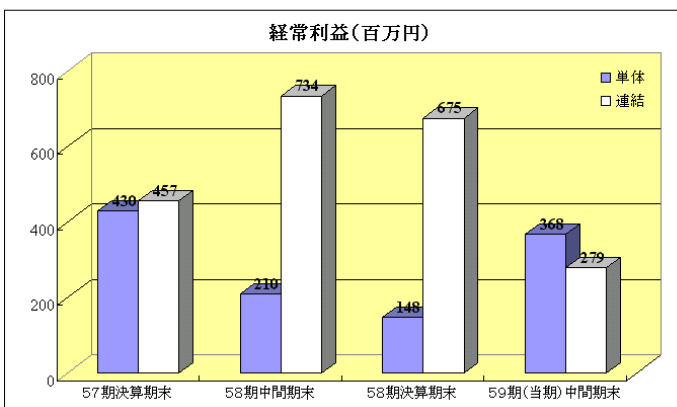
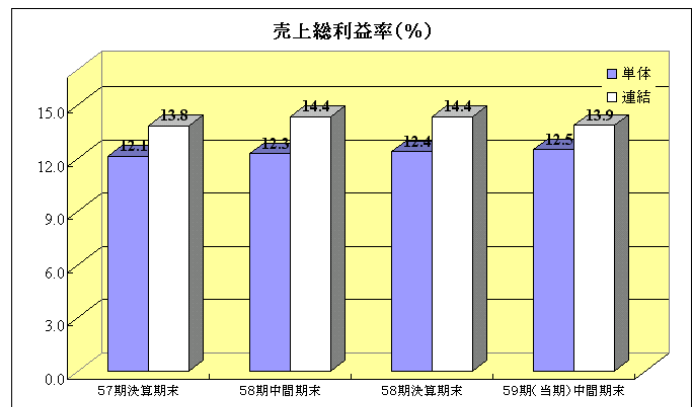
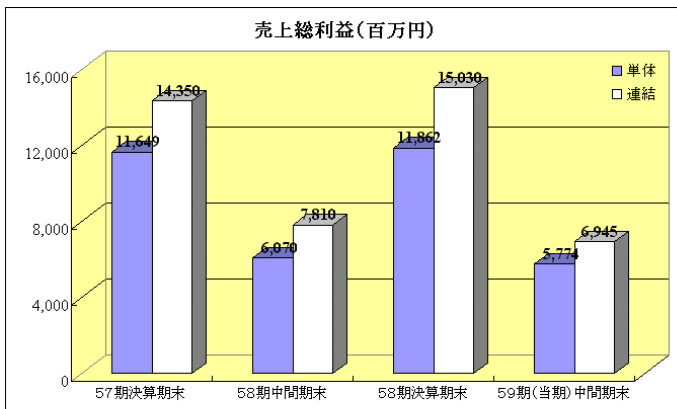
中央物産グループは、これまで築き上げた長年の信用と資産を有効に活用し、事業の多角化と、各事業間の相乗効果により、時代の変化にも柔軟に対応し、永続的な事業価値の向上を可能にする企業グループを目指しております。

## (2) 利益配分に関する基本方針

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要施策として位置付け、常に経営基盤の強化及び将来の事業展開に備えるための内部留保につとめ、業績に応じた利益還元を安定的かつ継続的に行うことを基本方針としております。

## (3) 目標とする経営方針

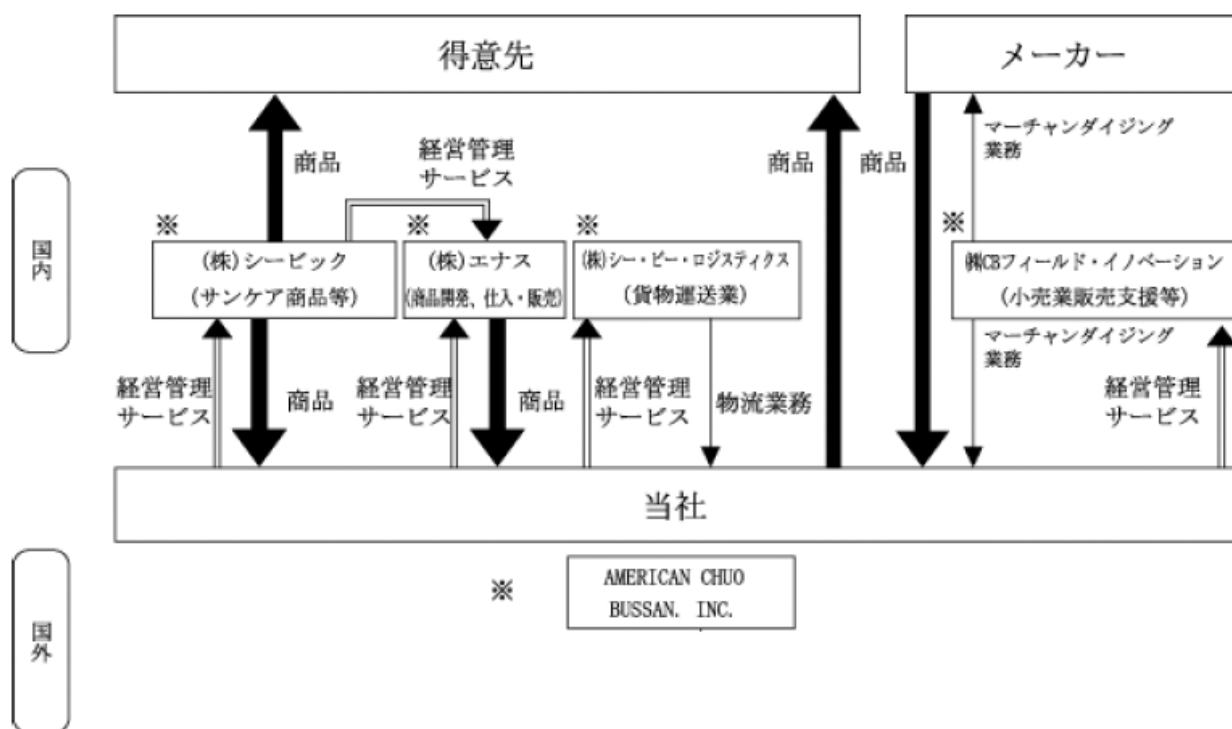
当社は安定的な収益力を確保すべく「売上総利益」及び「経常利益」の利益率向上を重視してまいります。



#### (4) 事業内容

当社は、石鹼・洗剤、化粧品・医療衛生用品・介護用品及び雑貨品などの生活関連用品を主に国内メーカーから仕入れて、首都圏を中心に関西及び東海地区の百貨店・量販店・有力卸店・専門店などへの卸売を事業としております。また、ホテル経営も営んでおります。

なお、中央物産グループは、中央物産（株）とその傘下に100%子会社として、パーソナルケア製品（健康清潔生活）の製造、輸入、商品企画及び販売を営むメーカー業を（株）シービック、今後重要性の高まる小売業店頭支援業務を行う（株）CBフィールド・イノベーション、3PL（サード・パーティー・ロジスティクス）として鋭意物流事業を拡充する（株）シー・ビー・ロジスティクス、競合との差別化強化のため独自の商品開発を行う（株）エナスによって成り立っております。これらは、中央物産グループが中間流通業として向後他の追随を許さない戦略的な発展を遂げていくための、欠くべからざる機能・役割を担うものであります。



※は連結子会社であります。

## (5) 中長期的な会社の経営方針

当社グループは、平成17年から平成19年までの「第二次中期経営計画（ペガサス計画）」をスタート致しました。本計画では、株主価値を最大化させるための“収益構造改革”を最重点施策としております。

## (6) 会社の対処すべき課題

当社グループは、以下の事項に積極的に取り組み、企業としての社会的責任を果たしつつ高収益体質への改善に努めてまいります。

### ① 革新的な物流費の削減

大幅なコスト削減を図るため最新の物流技術革新を実現する大規模物流センター（伊勢原ロジスティクスセンター）を神奈川県伊勢原市に前期下期より本格稼動いたしました。同センターでは、単に低コスト・高品質の物流を目指すのではなく、省エネルギー設備・低公害車の導入・資源リサイクルなどの環境への配慮、地域社会との共生（障害のある方の雇用創出）などを積極的に進めてまいります。また、同センターの技術を既存センターに水平展開することにより、物流部門全体の継続的なコスト削減を行ってまいります。

#### 【伊勢原ロジスティクスセンター外観】

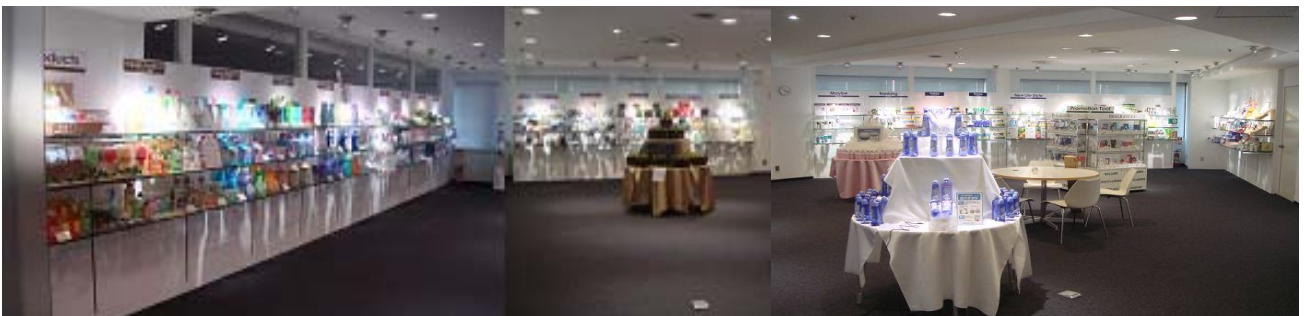


## ② 得意先小売店へのカテゴリーマネージメント（CM）サポートの強化

当社が提唱してきたカテゴリー・コントラクター機能をより高度化して、消費者との接点となる小売店の店頭を活性化することにより、双方の売上増加に寄与してまいります。具体的には、インフラ整備として、カテゴリーマネージメント活動に必要な情報“MD提案、分析、POG、商品検索機能”全てをITシステム化した「C-CAP」（Chuo-Bussan.Category.analysis.program）を全ての営業員のパソコンに搭載し、モバイル環境を整備した“どこでもCM提案活動”を実現できる仕組みを創り上げました。

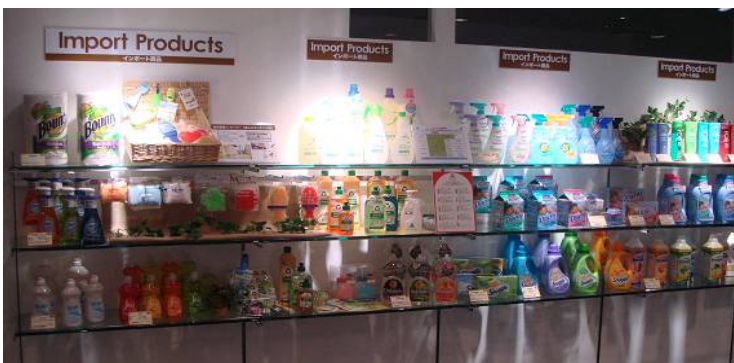
実行組織としては、得意先のカテゴリービジネスの成果向上を専門的にサポートする「カテゴリー別セールスマトリックス組織」を創り上げました。さらに、営業・マーチャンダイジング・受発注・システム・物流（株式会社CBL）・店頭サービス（株式会社CBFI）などの当社の中間流通機能の全てをまとめて実行する「カスタマーチーム」を編成することにより、得意先小売店との「ダイヤモンド型の包括的な取り組み」を実現し、小売店の収益向上に貢献する改善活動（カテゴリー・コントラクター活動）を行ってまいります。

### 【マーチャンダイジングスタジアム（MDスタジアム）】



（MDスタジアム）は、弊社が掲げる“新中間流通業「カテゴリー・コントラクター」”提唱の一環として、得意先小売店様に貢献できるマーチャンダイジング機能を体験していただく場所です。

『鮮度・意外性・期待感』をコンセプトに、実際に商品を手にとってもらい『新しい切り口』『旬』を体感してもらうと同時に、「C-CAP」システムをもとにしたマーチャンダイジング提案と得意先小売店様との取り組みの場として有効的に活用されております。



インポート提案、カテゴリー提案、売れ筋予測提案、生活スタイル提案、什器カテゴリー提案、一押し商品提案、MAYBE提案、外商・ギフト提案、CBC機能説明の9個のブースでマーチャンダイジングを提案

## (7) 中間連結財務諸表

## ①中間連結貸借対照表-1

(単位:千円)

区 分	前中間連結会計期間末 (平成17年9月30日)		当中間連結会計期間末 (平成18年9月30日)		前連結会計年度末 (平成18年3月31日)	
<b>(資産の部)</b>						
<b>I 流動資産</b>						
1 現金及び預金		917,747		1,608,772		370,009
2 受取手形及び売掛金		10,699,742		10,599,719		11,469,574
3 たな卸資産		6,570,153		5,572,349		6,034,103
4 繰延税金資産		232,740		198,649		277,637
5 未収入金		2,102,108		1,873,387		1,935,413
6 その他		601,894		517,998		1,593,277
貸倒引当金		△ 49,031		△ 39,128		△ 43,460
<b>流動資産合計</b>		<b>21,075,354</b>		<b>20,331,747</b>		<b>21,636,556</b>
<b>II 固定資産</b>						
1 有形固定資産						
(1) 建物及び構築物	11,583,977		11,678,896		11,637,854	
減価償却累計額	5,520,905		5,789,292		5,654,578	
減損損失累計額	56,473	6,006,598	56,473	5,833,130	56,473	5,926,802
(2) 土地		4,354,087		4,360,495		4,360,496
(3) その他	598,016		594,572		590,391	
減価償却累計額	428,661	169,354	470,164	124,408	448,481	141,909
<b>有形固定資産合計</b>		<b>10,530,040</b>		<b>10,318,034</b>		<b>10,429,206</b>
2 無形固定資産						
3 投資その他の資産		128,826		127,758		127,862
(1) 投資有価証券		2,545,881		2,174,277		2,460,612
(2) 繰延税金資産		12,565		42,235		42,152
(3) その他		1,865,264		1,714,542		1,718,441
貸倒引当金		△ 3,997		△ 35,141		△ 6,262
投資その他資産合計		4,419,714		3,895,913		4,214,943
<b>固定資産合計</b>		<b>15,078,581</b>		<b>14,341,706</b>		<b>14,772,012</b>
<b>III 繰延資産</b>						
1 社債発行費						
		-		22,512		-
<b>繰延資産合計</b>		-		<b>22,512</b>		-
<b>資産合計</b>		<b>36,153,935</b>		<b>34,695,966</b>		<b>36,408,569</b>

①中間連結貸借対照表-2

(単位:千円)

区 分	前中間連結会計期間末 (平成17年9月30日)	当中間連結会計期間末 (平成18年9月30日)	前連結会計年度末 (平成18年3月31日)
<b>(負債の部)</b>			
<b>I 流動負債</b>			
1 支払手形及び買掛金	9,152,522	9,197,538	9,944,440
2 短期借入金	7,003,149	7,750,000	8,103,537
3 一年以内償還社債	60,000	60,000	1,010,000
4 一年以内返済長期借入金	1,697,879	2,847,580	2,185,264
5 未払法人税等	242,421	145,802	117,728
6 未払事業所税	6,232	9,842	10,500
7 賞与引当金	295,943	272,876	331,439
8 返品調整引当金	30,000	27,700	32,200
9 その他	1,470,971	1,979,198	1,743,759
<b>流動負債合計</b>	<b>19,959,119</b>	<b>22,290,538</b>	<b>23,478,870</b>
<b>II 固定負債</b>			
1 社債	1,040,000	980,000	60,000
2 長期借入金	6,250,574	2,707,000	4,064,200
3 退職給付引当金	-	34,259	29,335
4 役員退職慰労引当金	399,825	425,600	416,150
5 繰延税金負債	-	90,678	216,860
6 その他	474,796	270,249	271,146
<b>固定負債合計</b>	<b>8,165,196</b>	<b>4,507,787</b>	<b>5,057,693</b>
<b>負債合計</b>	<b>28,124,315</b>	<b>26,798,325</b>	<b>28,536,563</b>
<b>(資本の部)</b>			
<b>I 資本金</b>	<b>1,608,227</b>	-	<b>1,608,227</b>
<b>II 資本剰余金</b>	<b>1,321,144</b>	-	<b>1,321,144</b>
<b>III 利益剰余金</b>	<b>4,391,863</b>	-	<b>4,208,414</b>
<b>IV その他有価証券評価差額金</b>	<b>742,493</b>	-	<b>760,766</b>
<b>V 為替換算調整勘定</b>	<b>△ 26,133</b>	-	<b>△ 17,209</b>
<b>VI 自己株式</b>	<b>△ 7,975</b>	-	<b>△ 9,337</b>
<b>資本合計</b>	<b>8,029,620</b>	-	<b>7,872,006</b>
<b>負債・資本合計</b>	<b>36,153,935</b>	-	<b>36,408,569</b>

## ①中間連結貸借対照表-3

(単位:千円)

区 分	前中間連結会計期間末 (平成17年9月30日)	当中間連結会計期間末 (平成18年9月30日)	前連結会計年度末 (平成18年3月31日)
<b>(純資産の部)</b>			
<b>I 株主資本</b>			
1 資本金	-	1,608,227	-
2 資本剰余金	-	1,321,144	-
3 利益剰余金	-	4,424,303	-
4 自己株式	-	△ 10,910	-
<b>株主資本合計</b>	-	<b>7,342,765</b>	-
<b>II 評価・換算差額等</b>			
1 その他有価証券評価差額金	-	572,900	-
2 繰延ヘッジ損益	-	2,353	-
3 為替換算調整勘定	-	△ 20,378	-
<b>評価・換算差額等</b>	-	<b>554,875</b>	-
<b>純資産合計</b>	-	<b>7,897,640</b>	-
<b>負債純資産合計</b>	-	<b>34,695,966</b>	-

②中間連結損益計算書

(単位:千円)

区 分	前中間連結会計期間 (自 平成17年4月1日 至 平成17年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成18年4月1日 至 平成18年9月30日)	前連結会計年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)
<b>I 売上高</b>	<b>54,384,206</b>	<b>50,103,260</b>	<b>104,691,704</b>
<b>II 売上原価</b>	<b>46,577,982</b>	<b>43,162,735</b>	<b>89,662,831</b>
<b>売上総利益</b>	<b>7,806,222</b>	<b>6,940,525</b>	<b>15,028,872</b>
返品調整引当金戻入額	33,309	32,200	33,309
返品調整引当金繰入額	30,000	27,700	32,200
<b>差引売上総利益</b>	<b>7,809,531</b>	<b>6,945,025</b>	<b>15,029,981</b>
<b>III 販売費及び一般管理費</b>	<b>7,261,146</b>	<b>6,828,800</b>	<b>14,546,016</b>
<b>営業利益</b>	<b>548,385</b>	<b>116,225</b>	<b>483,965</b>
<b>IV 営業外収益</b>			
1 受取利息	9,500	15,498	21,465
2 受取配当金	14,193	15,351	25,377
3 仕入割引	287,788	216,056	506,091
4 為替差益	60,324	12,629	11,863
5 その他の営業外収益	97,690	113,378	149,389
<b>営業外収益</b>	<b>469,497</b>	<b>372,913</b>	<b>714,188</b>
<b>V 営業外費用</b>			
1 支払利息及び社債利息	158,745	138,122	316,991
2 売上割引	92,134	67,222	162,731
3 その他の営業外費用	32,671	4,682	43,795
<b>営業外費用</b>	<b>283,551</b>	<b>210,027</b>	<b>523,518</b>
<b>経常利益</b>	<b>734,330</b>	<b>279,110</b>	<b>674,635</b>
<b>VI 特別利益</b>			
1 固定資産売却益	37,438	75	51,238
2 投資有価証券売却益	-	-	370,062
3 貸倒引当金戻入益	16,866	-	16,994
4 特別契約報酬益	47,619	350,000	47,619
5 その他の特別利益	-	-	29,049
<b>特別利益</b>	<b>101,923</b>	<b>350,075</b>	<b>514,963</b>
<b>VII 特別損失</b>			
1 固定資産除却損	65	-	27,271
2 固定資産売却損	520	-	1,161
3 特別退職金	6,306	13,395	16,572
4 事業再構築費用	-	14,341	263,623
5 投資有価証券評価損	-	1,752	42,272
6 貸倒引当金繰入額	-	22,300	-
7 商品廃棄損	-	2,253	21,068
8 過年度売上値引	31,696	-	46,405
9 過年度仕入割戻修正損	163,483	-	372,165
10 減損損失	697,795	-	697,795
11 リース解約損	-	-	45,822
12 その他の特別損失	14,150	2,317	13,286
<b>特別損失</b>	<b>914,018</b>	<b>56,360</b>	<b>1,547,444</b>
<b>税金等調整前中間(当期)純利益又は税金等調整前中間純損失(△)</b>	<b>△ 77,763</b>	<b>572,825</b>	<b>△ 357,845</b>
法人税、住民税及び事業税	239,825	149,301	219,866
法人税等調整額	△ 264,645	79,015	△ 341,319
<b>中間(当期)純利益又は中間純損失(△)</b>	<b>△ 52,943</b>	<b>344,508</b>	<b>△ 236,392</b>